

# 過疎地域別海町の地方創生を実現するテレワーク利活用実証

～ 別海町のワクワク未来を創るプロジェクト ～

|      |   |
|------|---|
| 提案者  | 一般社団法人 Be-W.A.C.、別海町、北海道、日本マイクロソフト株式会社、株式会社オーレンス、株式会社ダンクソフト、株式会社ベネフィット・ワン   |
| 実施地域 | 北海道野付郡別海町   |
| 事業概要 | 別海町という豊かな資源(漁業・農業・高い出生率)のある町に、ITインフラを整備し、町民のIT利活用を促進することで、町民の内外に対するコミュニケーションを活性化する。その環境へテレワークやサテライトオフィスに関心の有るIT企業を中心とした交流人口を促進させ、日本古来の自然資源と近未来のビジネスとの融合による「生き方・働き方の多様性」を実証する。 |

## 実証モデル1

地域の人  
がイキキとする

類型C  
別海起業人材育成・地域雇用支援  
検証  
→別海町住民の起業、就労

- クラウドソーシング・サービスを活用した女性の就労の実現
- テレワークによる起業促進
- Uターン、Iターン人材への雇用環境の提供

## 実証モデル4

持続可能なエコシステムづくり

【目的】

- ①町民とクラウドソーシング企業、テレワーク企業のコラボレーションによる就労環境(主婦、若者、Uターン、Iターン)と起業環境の創出
- ②都市部企業の職員へのテレワーク環境の提供による移住、あるいは滞在型テレワークの促進

【施策】

- ①別海町住民へのテレワーク就労支援、起業支援(セミナー、講習会、就労者、起業家への個別サポートの実施)
- ②滞在型テレワークを促進する福利厚生制度の確立
- ③サテライトオフィス開設と移住者を促進するテレワーク環境の整備と、テレワーカー支援のための生活直結サービスの企画、提供

## 実証モデル2

移住したい  
町にする

類型A②  
企業機能一部移転モデル検証  
→都市部の企業のサテライトオフィス開設

- 公募区分A地域での移住を前提とした、サテライトオフィス開設と業務の実現性の実証
- 生活直結サービスの有用性の実証

## 実証モデル3

行きたい場所  
を作る

類型A①  
滞在型テレワークモデル検証  
→都市部の企業の職員の短期滞在テレワーク

- 福利厚生サービスとしての滞在型テレワークの実現性の実証